

## 第3回川口市協働推進委員会

令和4年7月6日（水）10時

かわぐち市民パートナーステーション会議室1～3

次 第

### 1 開 会

### 2 議 事

#### (1) 報告事項

外国人が参加しやすくなる仕組みづくり（参考資料）について

#### (2) 意見交換

国際交流員との意見交換について

#### (3) 事例紹介

外国人が参加しやすくなる仕組みづくり（事例紹介）について

#### (4) その他

### 3 閉 会

#### 配布資料一覧

資 料 No.1 川口市多文化共生とは他

資 料 No.2 国際交流員との意見交換

資 料 No.3 事例紹介【芝園かけはしプロジェクト】

参考資料 No.1 川口市協働推進委員会委員名簿

参考資料 No.2 川口市放課後子供教室チラシ

参考資料 No.3 川口市における地域学校協働活動の推進

## 「多文化共生」とは

国籍や民族などの異なる人々が、.....

(①国籍や民族の多様性)

互いの文化的違いを認め合い、.....

(②多文化の承認)

対等な関係を築こうとしながら、.....

(③対等性)

地域社会の構成員として共に生きていくこと...

(④地域社会での参加主体)

「多文化共生の推進に関する研究会 報告書」

(平成18年3月)より

## 川口市における外国人住民の状況

川口市における外国人数の推移

統計年(1月1日)	全人口(人)	人數(人)	比率(%)
平成23年	517,171	21,114	4.1
平成24年	579,021	21,578	3.7
平成25年	580,852	21,588	3.7
平成26年	583,989	22,958	3.9
平成27年	589,205	25,263	4.3
平成28年	592,684	27,641	4.7
平成29年	595,495	29,989	5.0
平成30年	600,050	33,279	5.5
平成31年	603,838	35,988	5.96
令和2年	607,105	38,764	6.38
令和3年	607,373	38,945	6.41

## 第5次川口市総合計画

本市の将来の姿を示し、その将来の姿を実現するまちづくりの指針

### <基本理念>

- 「市民とつくるまちづくり」
- 「多様な主体の共生共栄」
- 「多様な市民ニーズに的確に対応する市民福祉の充実」

### <将来都市像>

人としごとが輝くしなやかでたくましい都市 川口

### <めざす姿>

- I. 全ての人にやさしい“生涯安心なまち”
- II. 子どもから大人まで“個々が輝くまち”
- III. 産業や歴史を大切にした“地域の魅力と誇りを育むまち”
- IV. 都市と自然が調和した“人と環境にやさしいまち”
- V. 誰もが“安全で快適に暮らせるまち”
- VI. 市民・行政が協働する“自立的で推進力のあるまち”

## 施策

### 4 互いに尊重・理解し合う環境づくり

#### <基本方針>

さまざまな交流や啓発の機会を設け、誰もがお互いを尊重・理解し合える環境を整え、人権を尊重し、差別のない、みんなで支え合うまちをめざします。

#### <主な背景事象>

外国人住民は増加を続けており、異文化との出会いが増えるため、文化の違いを尊重し、理解し合うことが求められています。

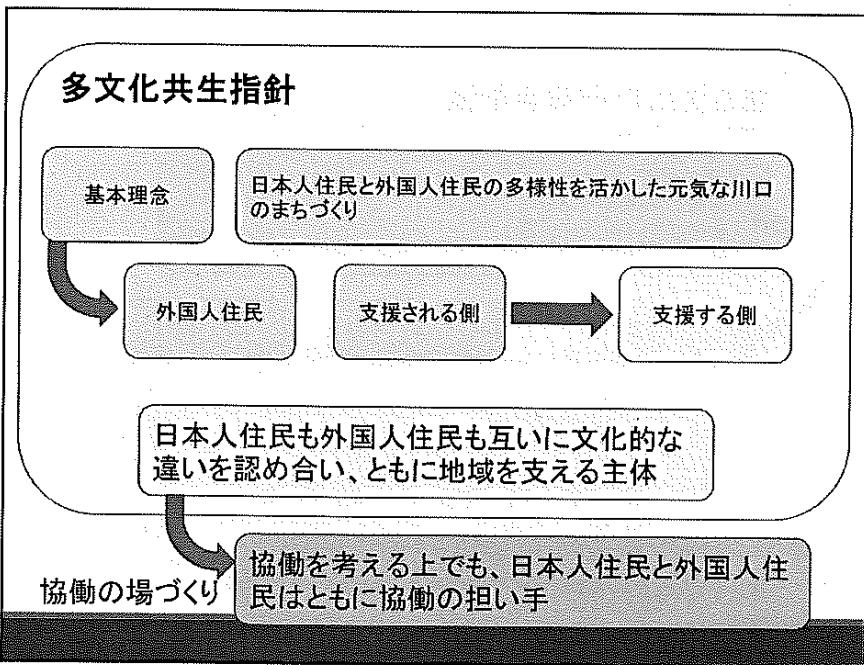
グローバル化が進む時代においては、外国語能力や表現力といったコミュニケーション能力を高め、異文化を理解するとともに文化の違いを尊重し、国際交流に対し意欲的に行動できる人材が求められています。

#### <単位施策と主な取り組み> 国際理解・交流の推進

日本における生活ルールや習慣を啓発することなどにより、外国人が地域社会にとけこみ、文化の異なる日本で安心して日常生活を送れるように支援します。

市民・地域・団体・行政が連携して、異文化を相互に理解し、多文化の交流を推進することにより、多文化共生社会の形成をめざします。

国際交流に対する認識や意欲、能力を備えた人材を育成し、国際交流活動を推進します。



## 川口市多文化共生社会のためのアンケートについて

第2次多文化共生指針の改訂時に聴取

項目	内容
調査対象	川口市在住外国籍住民
配布数	1,240部 (回収 1,006部 有効回答数 946部)
調査方法	公共施設、日本語教室、外国人が多く集まる場所などでの聞き取り調査、小中学校、保育所で調査
調査時期	平成28年11月～12月
調査項目 ※項目抜粋	<p>①【生活で困っていること】</p> <p><u>こどもの学校・教育 (32.6%)</u> 日本語 (26.7%) 税金や保険料の支払い (25.5%) <u>災害時の対応 (21.1%)</u></p> <p>②【情報の入手方法】</p> <p>同じ国・地域の友人・知人 (24.6%)、インターネット・SNS (24.4%) 広報かわぐち (24.2%) 日本の友人・知人 (22.6%)</p> <p>③【川口市に求めること】</p> <p><u>外国人のためのセミナー開催 (62.4%)</u></p> <p>日本語学習機会の充実 (33.5%) 外国人相談の充実 (31.8%) <u>日本人との交流やイベントの実施 (25.1%)</u></p> <p>④【近所の人や職場の人との交流】</p> <p>あいさつする程度 (54.4%) <u>PTAや保護者会などの行事 (31.9%)</u></p> <p>一緒に食事する、でかける (25.8%) <u>町会や自治会での活動 (14.8%)</u></p> <p>全然つきあってない (11.3%)</p> <p>⑤【全然つきあっていない理由】</p> <p><u>交流したいがどうしていいかわからない (60.7%)</u></p> <p>日本語がわからない (48.6%) 面倒である (10.3%) 交流したくない (1.9%)</p>

### 多文化理解に関するここと（自由記載）※抜粋

- ・あまり日本人と交流していない。どのように交流すればいいかわからない。
- ・外国人向けのいろいろな活動や勉強会を行ってほしい。
- ・もっと、日本人の若者と触れ合う機会やイベントを開催して欲しい。
- ・コミュニティの交流を深めるために、国際交流事業を開いて欲しい。
- ・外国人にゴミの分別を教えていいと思います。日本でのマナーなどはよくわからなくて、違う行動をする人がよくいます。町会とか学校とかでもいいので、そういうことを教える機会があつたらいいなと思います。
- ・日本に数年間生活しても、日本人との交流はやはり言葉の障害がある。

## 川口市における多文化共生推進事業

1. 国際交流員・外国人相談員等の体制の構築
2. 行政サービスの多言語対応
3. 外国人住民・日本人住民向けの情報発信
4. 住民向けのイベント・講習会等

国際交流員との意見交換

卷之三

【業務内容】  
(1) 日本政情・英語・中国語による生活相談おおよび情報提供  
(2) 駅や町会による情報誌提供  
(3) 多文化共生意識の啓発や情報提供  
(4) 住民を対象とした多文化共生の啓発や情報提供  
(5) 住民による文化共生の啓発や情報提供  
(6) その言ふことによる文化共生の啓発や情報提供

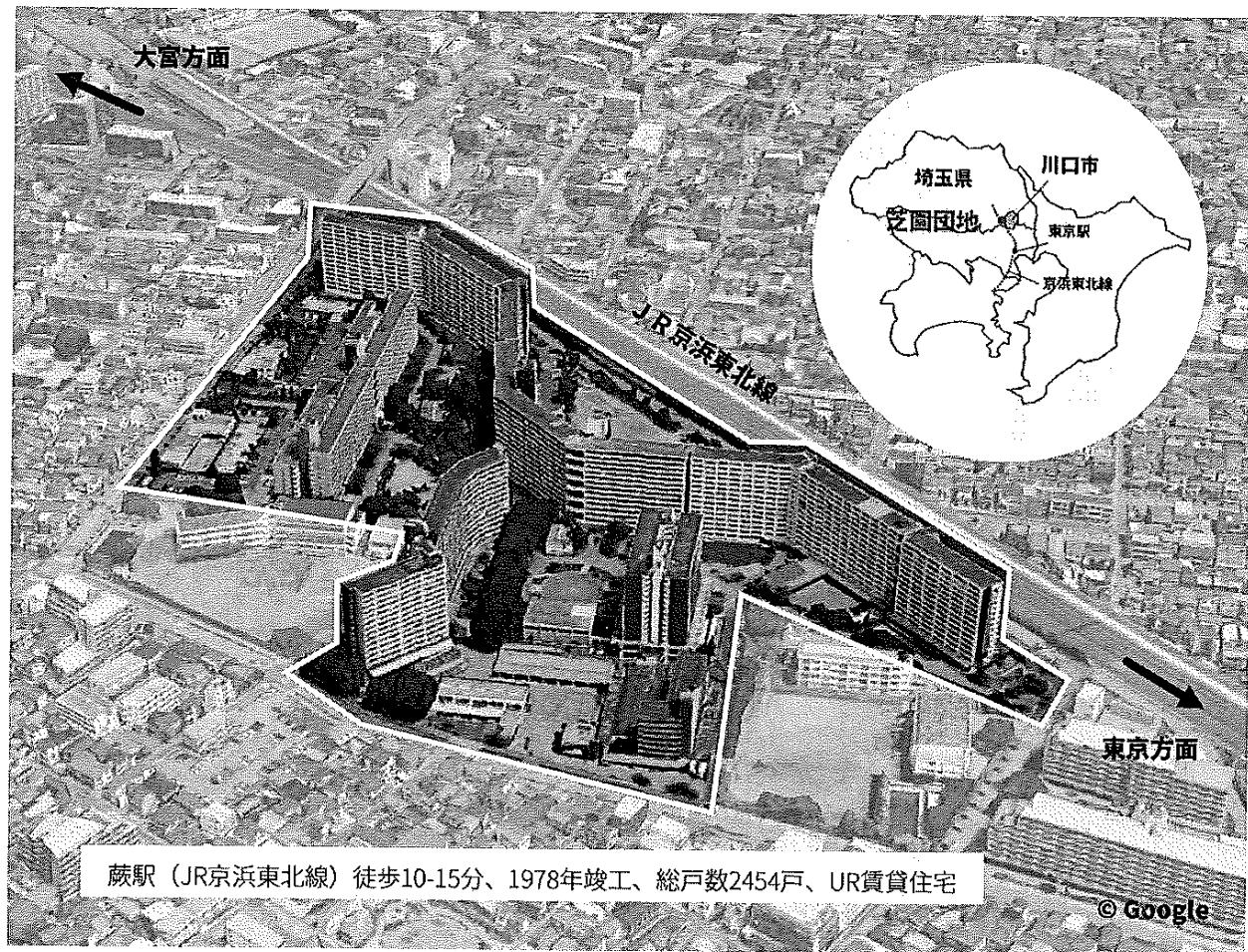
22.07.06 Wed | 川口市協働推進委員会

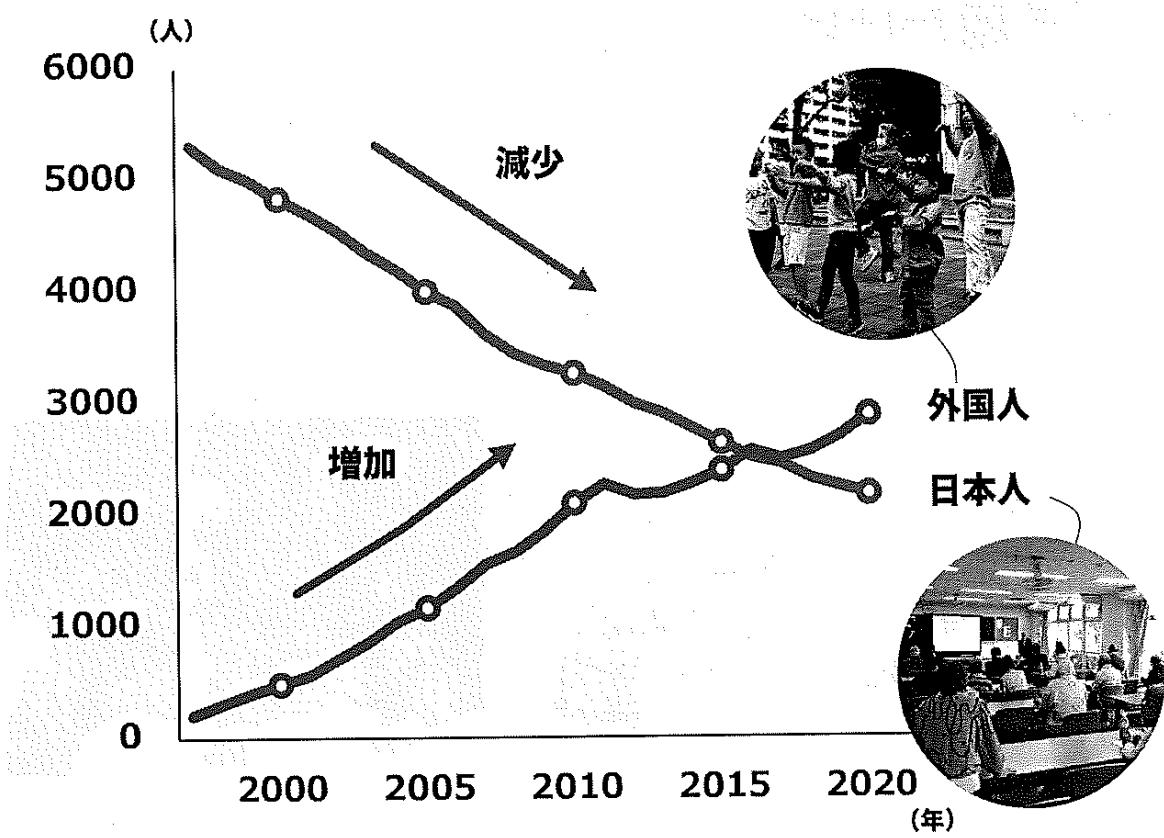
事例紹介【芝園かけはしプロジェクト】

# 芝園団地における多文化共生のまちづくり - 地域と学生の連携による取り組み -

芝園かけはしプロジェクト 代表  
圓山王国 / Maruyama Oukoku  
shibazonogakusei@yahoo.co.jp

1





芝園町（ほとんど芝園団地）の人口推移

3

## 外国人集住に伴う課題：住環境とコミュニティ

### ①文化・生活習慣の違い

- ごみ出し
- 生活音
- 香辛料のにおい



◀ 芝園団地の住民集会に関する記事（埼玉新聞、2011年）

### ②住民間の接点不足

- 言語の壁
- ライフステージの違い
- 賃貸住宅という環境



▲ 外国人住民への誹謗中傷のかかれたベンチ（2015年以前）

### ③自治会の弱体化

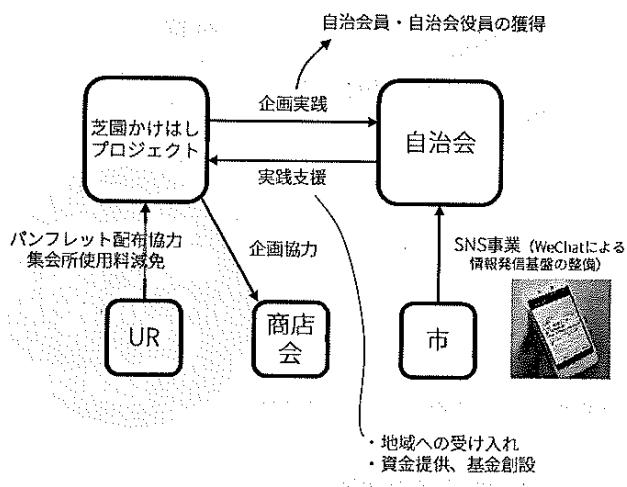
- 会員の減少と高齢化

4

# 「芝園かけはしプロジェクト」

## 芝園かけはしプロジェクト

- 2015年発足
- 外部の学生ボランティア、任意団体
- 多文化・多世代の住民がともに安心して暮らせるまちづくり

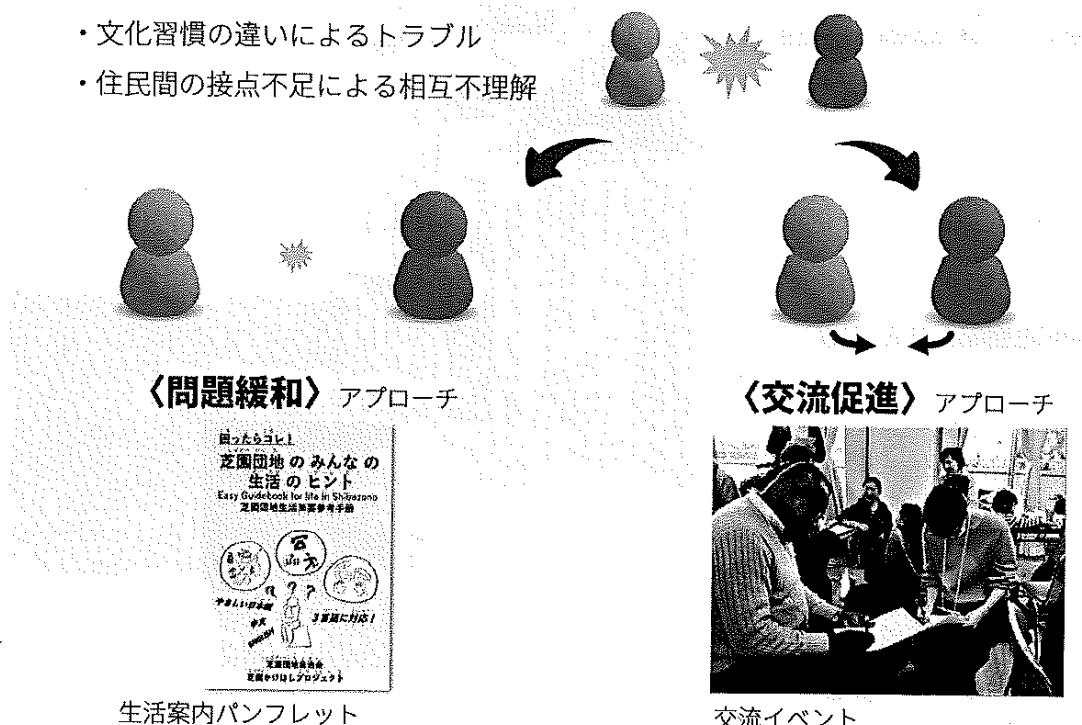


▲ 芝園かけはしプロジェクトのメンバー

5

## アプローチ：〈問題緩和〉と〈交流促進〉

- ・文化習慣の違いによるトラブル
- ・住民間の接点不足による相互不理解



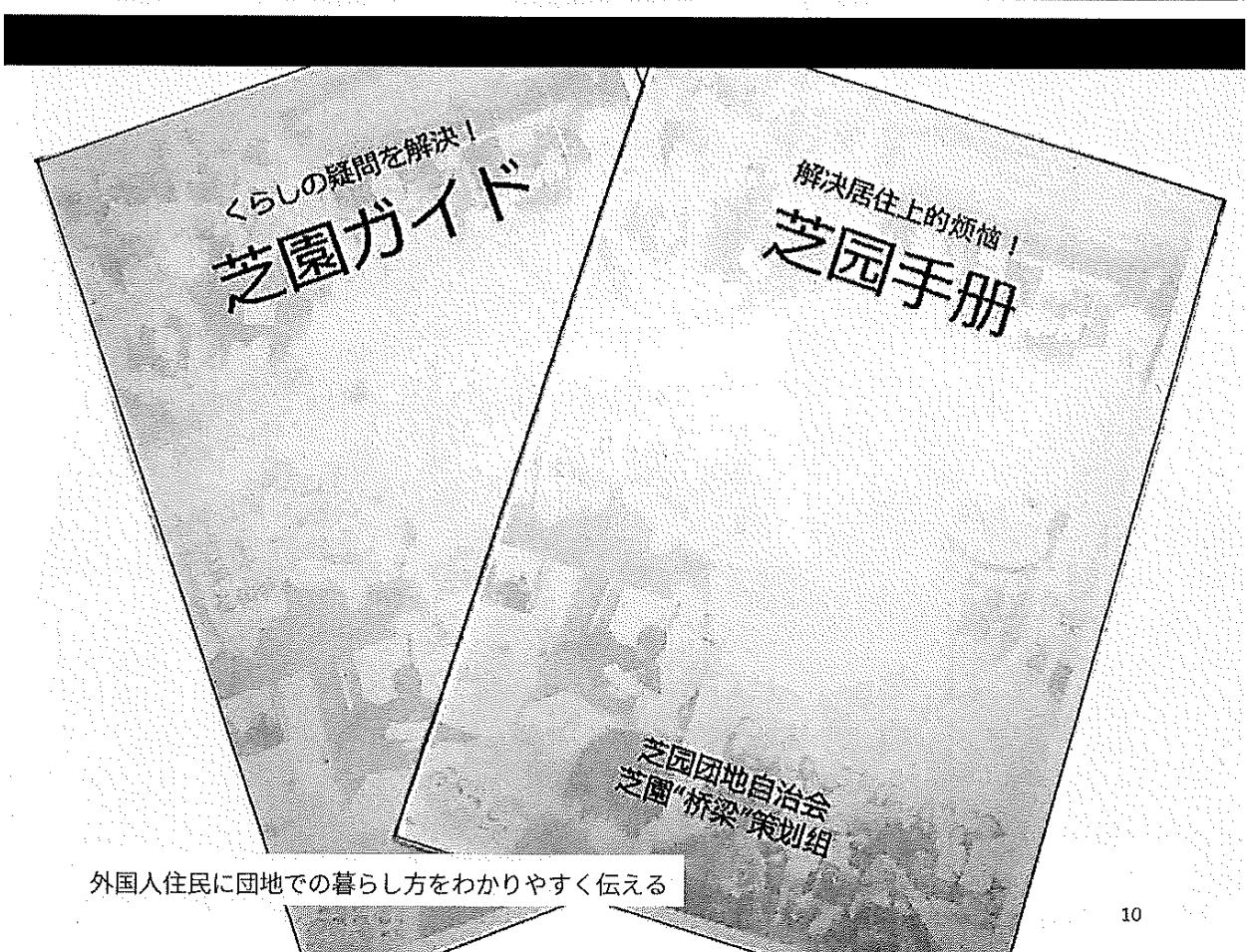
6



外国人住民への誹謗中傷のかかれたベンチを交流のシンボルに変える



多文化・多世代の住民の交流イベントを定期的に開催



こま  
これ  
困ったらコレ！

しばぞの だんち

# 芝園団地のみんなの せいかつ ひんと 生活のヒント

Easy Guidebook for life in Shibazono  
芝园团地生活简要参考手册



パンフレットの改訂（2019年度）

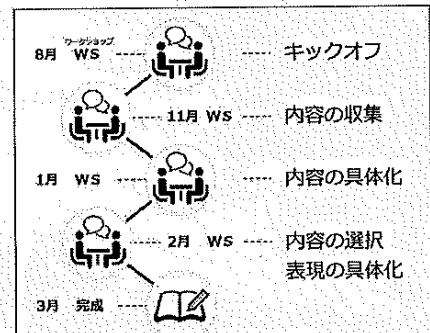
## - ワークショップの実施

- ・内容と表現の充実
- ・対話の場
- ・住民視点のまちの課題を発掘

「外国人住民向け」から

「芝園団地の住民全体向け」へ

## ワークショップの工程



11

## 目次 / contents / 目录

### 困った時に相談や連絡をする場所

Where to go for advice and contact when you have a problem  
当你遇到问题时，可以去咨询的场所

生活で困った時は、「自治会」に聞きます p. 03  
Consultation about daily life : The resident's association  
日常生活的咨询：自治会

家や部屋のことで困った時は、UR管理サービス事務所に聞きます p. 05  
Consultation about housing : UR management service office  
住宅咨询：UR管理服务办公室

SNSで情報を見られます p. 07  
Offering information through SNS  
通过SNS获得信息

65歳以上の人ための情報 p. 08  
Supporting info for the Elderly  
关于老人的信息

子どものこと p. 09  
About parenting  
育儿信息

日本語がわからないとき p. 11  
When you don't understand Japanese  
不懂日语的时候

あいさつ～エレベーターでの会話 p. 13  
Greeting～in elevators  
问候～电梯

「やさしい日本語」について p. 14  
About "easy Japanese"  
关于“简单版日语”

もっと知りたい人のための情報 / Information for those who want to know more / 如果你想了解更多

災害が起きて困った時  
When you are in trouble because of disasters  
受災而为难时

p. 15

防災に大切なこと  
Important things for disaster prevention  
为了防灾重要的事情

p. 17

緊急の時（何か危険なことがあった時）  
Emergency contact  
紧急联络

p. 18

芝園団地で暮らす方法  
How to live in Shibazono housing complex  
如何在芝园团地生活

ごみを出すこと p. 19  
Trash outs  
关于垃圾

生活の音 p. 25  
The sounds of daily life  
生活的声音

生活の音を小さくする方法 p. 26  
How to reduce the noise  
降低生活中的声音的方法

みんなで使う場所（共用部） p. 27  
About public area  
关于公共区域

災害の時に危ないです p. 27  
Dangerous when disasters happen  
灾害的时候很危险

その他生活の決まり p. 28  
Other rules of life  
其他生活上的规定

1

2



対等な関係づくり、悪口大会や修復不能な言い争い、誰もが発言しやすい環境づくりに注意

2011年7月号 (65枚中)

Shimokita Ekimae Project (ひだ)

おと 岩田は、新規アシスタント店主の  
吉城春子さんに話を聞きました。

● プロフィール 2011年に次日、  
芝居横丁で営む15年から営業。吉アン・東  
南アジアの料理を入れ、豊かな食文化を提  
げています。吉田、吉城さんは外國人住民が  
どれどもいるが、現在は100円コインの現  
金や券券券券の支払方法の解説を積極的に行  
い、日本人のお客さんも喜んでいました。地  
域にあってお店があると考えているので、半  
年と商店街とちょっと交差があるみたいと思っ  
ています。吉田さんは文化から交流し合いが  
できています。より多く楽しみを持ってもら  
えるよう活動に取り組んでいます。

◆ 金城さんによる  
3. 芝居横町に来て印象的な出来事 商店街で  
開催したたまご祭りやクロッカンパン等  
が印象的です。またできる限り楽し  
めにしています。

4. 今、地域に必要なこと 地域の方とのの交  
流が生まれる場所があつたらいいと思っています。  
外国人の吉田さんの話を聞くと、日本  
語で話すのをじぶんの母国で育っている人  
が多いように思います。日本のコミュニケーション  
に馴染めるようなサポートがあるとよいと思  
います。

◆ 读者へのメッセージ 新規アシスタントは、  
メインが東南アジアの料理になっています。  
このような特徴なので、当店の商品で少しでも  
お客様をお迎えください。

2011年7月号 (65枚中)

Shimokita Ekimae Project (ひだ)

2. What the community needs now? It is  
for us to have the opportunity to interact with  
local community, which start to foreigner  
and that many of them are having trouble for  
digesting or adjusting their choices. It is  
would be good if there was support to help the  
in Japanese community.

● Message to the readers We make products of  
Shimokita Town. An Asian products is such a  
fine name, so we hope our products will make  
you feel a little happy you are having.

(発行日: 2011年07月25日)



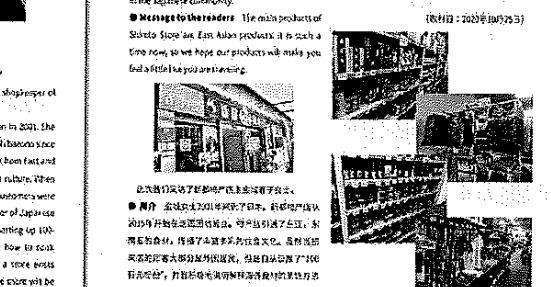
新規アシスタント 店主  
吉城春子 様

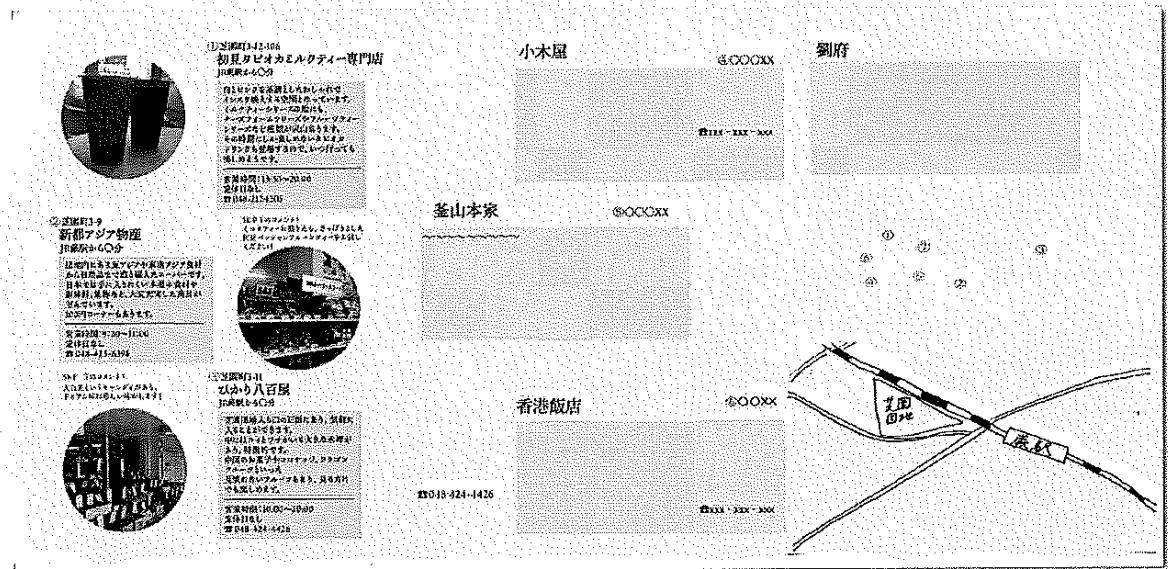
We interviewed Kiyoko Ito, the new manager of  
"Dinner Store".

**Profile** Kiyoko came to Japan in 2011. She  
has been operating Shima Street Soba shop since  
2010. Shimokita town is full of ingredients from  
Southeast Asia and it's very delicious. When  
she first opened, most of the customers were  
foreign residents, but now the number of Japanese  
customers has been increasing by setting up 100  
yen menus and a their explaining how to cook  
various ingredients. I believe that a more active  
interaction between the community and the  
community through food culture is  
a contribution to the society to this  
becomes more familiar to the local.

● Questions to Kiyoko-san

1.Impressive episode in Shimokita  
2.Challenged Project and achievement  
3.Knowledge Shima street shopping guide  
4.Inspiring friends to do their language



- ・交流のきっかけ
- ・学生と地域の関係づくり

15

## 子ども食堂 食を通してつながる 世界料理厨房

**Shibazono-Kitchen**

2022年  
**3月12日(土)**  
12:00～13:00  
川口芝園団地  
集会所2階オープンキッチン  
子ども(中学生まで) 50円  
大人 250円

世界料理厨房  
特製料理をご提供!!

大家申し訳ありません。  
駐輪スペースがございません。  
自転車の収納はご遠慮ください。

集合所内は土足で入れません。  
スリッパをお持ちください。

天候状況により開催の可否をせざります。  
雨天の場合はフェイスマスクペーパーをご用意ください。

世界料理厨房とは?  
食を通して人々が繋がる子ども食堂です。  
自分で作って自分で食べる、地元の立派の場を目指して  
います。団地内外・年齢・国籍制限なく、  
参加できます。

世界料理厨房Facebook  
<https://www.facebook.com/shibazonoKitchen/>

QRコードより  
<https://ora-ele/6LyzeE5yTeoJ19>

⑤ これからもくらしをみえる、ひと×コミュニティ  
世界各国の料理で交流! 食を通してみんなをつなぐ子ども食堂「世界料理厨房」を川口芝園団地で実施

2022.02.21

△ 2022年1月のこども食堂の様子を伝える記事  
(URホームページより引用)





19

## ▼ 川口市、URとの協力関係の強化を確認（今後何かコラボ企画をするかも…!?)

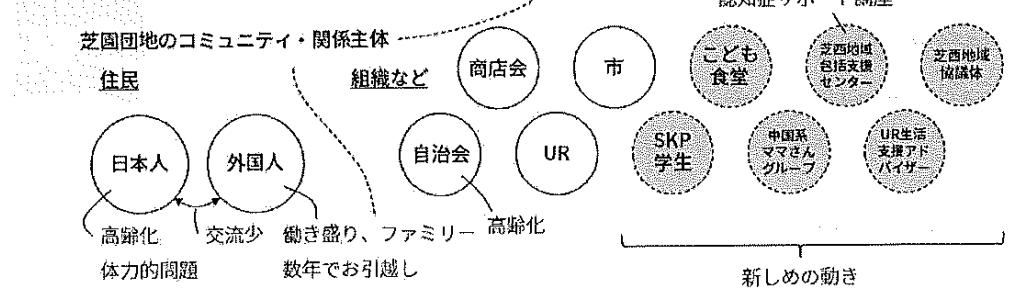
### ご相談の趣旨

#### ご相談の背景

- ・芝園団地の地域活動やまちづくりを推進することの難しさ
- ・一方で、暮らしやまちに課題を感じたり、何かやってみたいと思ったりしている住民も存在

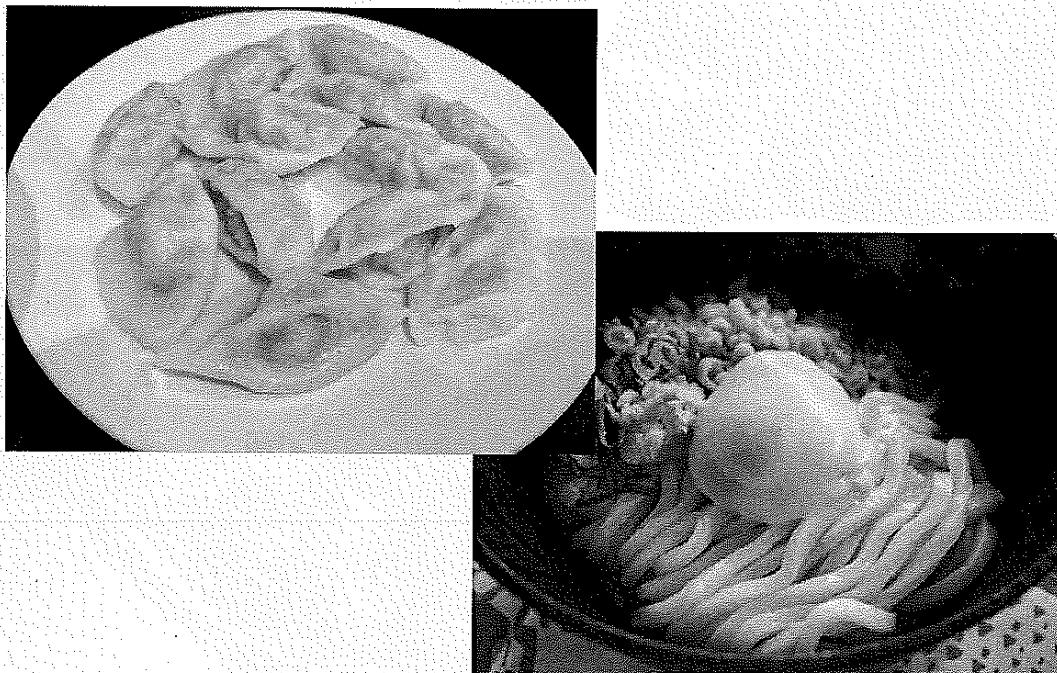
#### ご相談の内容

- (1) 誰かの負担になることなく、
- (2) 何かやってみたいという気持ち、暮らしやまちの課題意識を、育んだり共有したりしながら、
- (3) そのような思いを、団地をより魅力的で住みよい場所に変える力に転化することで、
- (4) 芝園団地の地域活動やまちづくりを推進できるようにするためのアイディアを皆さんで話し合いたいです。



20

▼ お料理交流イベント（水餃子＆うどんづくり）を準備中…



21

## まちづくりの成果と課題

### ① 住民間の接点創出と相互理解

- 交流イベントにはのべ1000名以上の参加者
- 住民同士のコミュニケーション、態度の変容

### ② 外国人住民の地域社会への参加

- 外国人住民の自治会員、自治会役員の増加

### ③ 生活を支え、豊かにする場

- 「こどもを楽しませたい」「日本のこと学びたい」「友人をつくりたい」(外国人住民)

### ④ トラブルの減少

- (取り組みの効果か判断できないが)自治会やUR管理サービス事務所へのトラブル関連の苦情が減少

### ⑤ 地域イメージの向上

- 各種賞の受賞

### ① 住民間の接点創出の限界

- 交流イベント：日本人住民が比較的少数
- ワークショップ：外国人住民が少数

### ② トラブルの減少の限界

- トラブルはゼロになる訳ではない

### ③ 多様な主体の連携が必要

- 住民視点で暮らしやまちの課題を捉え直すと、さまざまな課題が見つかる

「気軽に立ち寄れる場所」

「子育てするための情報や場所」



喫茶店が閉店

- そのような課題を発見し対応していくために、多様な主体の連携が一層重要

22

# 住民の巻き込みとその課題とこれから

当初



- ・自治会だけでは新しい取組を実施することが難しかった

- ・自治会と学生が協働、イベントやワークショップを実施
- ・イベントをきっかけに、外国人住民が自治会に参画

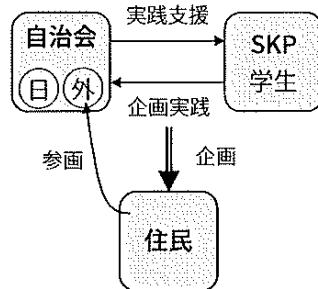
しかし…

- ・参加→担い手にはギャップ
- ・「多文化共生 / 交流」がテーマだと関心の広がりに限界



生活案内パンフレット WS  
まちや暮らしの課題を一緒に  
考える対話や交流の場の可能性

かけはしプロジェクトの取組～



これから

- ・多様な主体と連携し、住民が関わってみたいと思える活動の幅を広げたい
- ・それをまちや暮らしの課題解決にも繋げたい

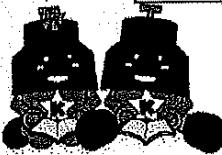
23

## 川口市協働推進委員会委員名簿

(任期: R3.7.1~R5.6.30)

区分	氏名	所属団体等	備考
1号委員 市民	美田 昌宏	市民(公募)	
	城守 茂美	市民(公募)	
	佐藤 真理子	市民(公募)	
	梁川 哲生	市民(公募)	
2号委員 市内の民間団体 から選出された者	岩城 きみ江	川口の男女共同参画を考える会	
	岩崎 悅夫	グラウンドワーク川口	
	児玉 桜	川口市商工会議所 児玉コンクリート株式会社代表取締役社長	
	高山 久美子	社会福祉法人 川口市社会福祉協議会事務局長	
3号委員 知識経験者	國分 洋太	株式会社国商 代表取締役	
	草柳 喜好	JAさいたま農協 理事 有限会社草柳 代表取締役社長	
	小野寺 秀明	輸入医療機器販売コンサルタント代表	副委員長
	青山 聖子	川口市議会議員	
4号委員 学識経験者	石阪 睦規	埼玉大学 教育機構 基盤教育研究センター	委員長

# 川口市放課後子供教室



川口市マスコット「さくばらん」

放課後や週末等に、小学校の体育館や空き教室を利用して、地域の方と一緒に勉強やスポーツ、文化芸術活動など様々な体験活動を実施しています。

学校の教育活動とは、ひと味違う活動に参加することで、友達との関わり方や社会のルールなどを学ぶことができる期待されています。※放課後児童クラブ（学童保育）とは異なります。

## 活動の例



けん玉などの昔遊び



異年齢による集団遊び



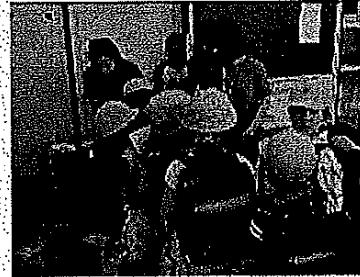
身近な材料を使った工作



宿題などの学習



地域の方との交流



帰りの会後の受付

参加方法（各教室によって異なります）※令和3年度の開設状況は裏面をご確認ください。

- 事前登録が必要となりますので、新年度に申込み用紙を配付します。

- 年間保険料200円（予定）

- 下校時に保護者等のお迎えが必要になります。

- 活動場所の広さ等により対象学年等を制限している教室もあります。

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催時期や方法等に変更が生じる場合があります。

## ボランティアスタッフ募集

子供たちと一緒に活動したり、活動の様子を見守ったりしていただけるボランティアスタッフを募集しています。資格等は必要ありません。生涯学習課までご連絡ください。

各教室の詳細は、川口市WEBサイトに掲載しています。

※ご不明な点は生涯学習課まで  
ご連絡ください。

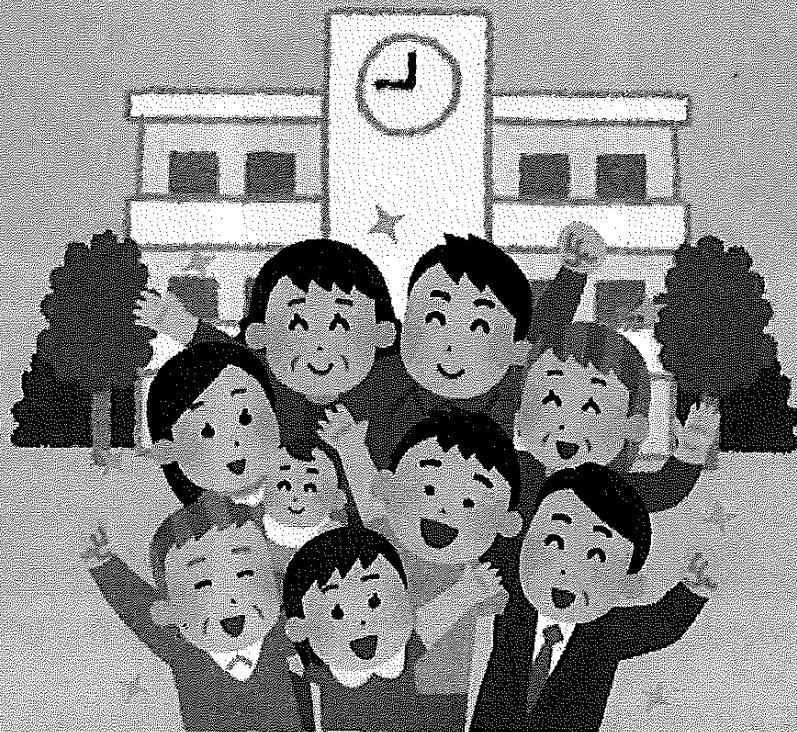
川口市放課後子供教室

検索



【お問い合わせ先】  
川口市教育委員会 生涯学習課  
048-259-7655

# 川口市における 地域学校協働活動 の推進



学校は“コミュニティ・スクール”へ  
地域は“協働活動”で元気になる！

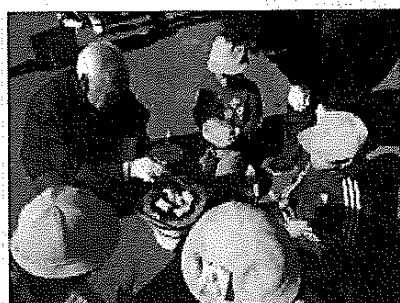
川口市教育委員会  
令和2年3月

## 地域学校協働活動とは？

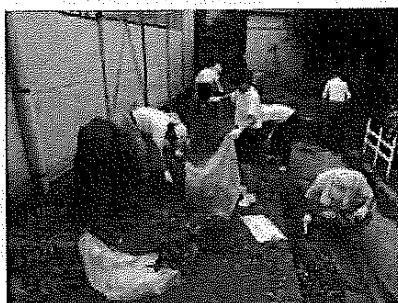
地域学校協働活動とは、地域の高齢者、成人、学生、保護者、PTA、NPO、民間企業、団体・機関等の幅広い地域住民等の参画を得て、地域全体で子供たちの学びや成長を支えるとともに、「学校を核とした地域づくり」を目指して、地域と学校が相互にパートナーとして連携・協働して行う様々な活動です。（文部科学省「地域学校協働活動パンフレット」より）

川口市における地域学校協働活動として、地域と連携した授業、学校応援団の取組（学習支援、環境整備、見守り等）、放課後子供教室等が挙げられます。

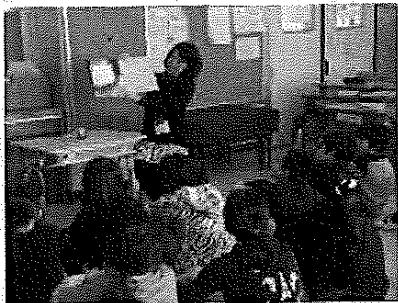
今後、これまでの取組を継続・充実させるとともに、様々な団体や取組が連携・協働することができる「地域学校協働ネットワーク」の構築等、より多くの地域住民が参加することができる仕組みが求められています。



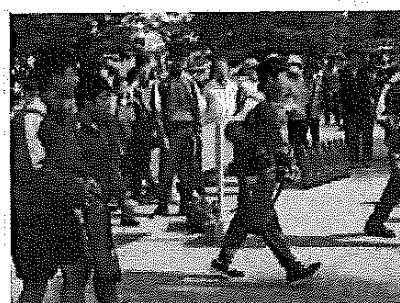
地域の方をゲストイヤーに招いた授業



地域との協働による除草作業



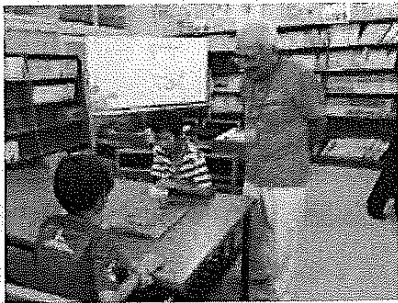
保護者や地域の方による読み聞かせ



地域の防災訓練へ生徒が参加



地域行事を手伝う中学生ボランティア



地域の運営による放課後子供教室

## なぜ、地域学校協働活動を推進するの？

地域における教育力の低下、家庭の孤立化などの課題や、学校を取り巻く問題の複雑化・困難化に対して社会総掛かりで対応することが求められています。そのためには、地域と学校がパートナーとして連携・協働するための組織的・継続的な仕組みが必要不可欠です。

また、次期学習指導要領が目指す「社会に開かれた教育課程」の実現に向けて、学校は地域との連携・協働を一層進めていくことが重要であり、地域においても、より多くの地域住民等が子供たちの成長を支える活動に参画するための基盤を整備していくことが求められています。

こうした社会的背景を踏まえ、平成29年3月に社会教育法が改正され、地域学校協働活動の全国的な推進に向けた規定の整備が行われました。

（文部科学省「地域学校協働活動パンフレット」より）



## 川口市における「地域学校協働活動」の推進体制

学校応援団や放課後子供教室等の取組をつなぎ、「地域学校協働活動」として充実・発展させる。

### <具体的な取組>

- ・「地域学校協働ネットワーク」による活動の充実
- ・地域学校協働活動推進員による活動のコーディネート

コミュニティ・スクール(R3年度まで全校設置)

・新学習指導要領(小:R2~、中:R3~)

・「社会に開かれた教育課程」の実現

地域学校協働活動

推進員の役割

学校応援コーディネーターや放課後子供教室コーディネーターなど地域学校協働活動に関わる住民の中から推進員を選定し、学校運営協議会のメンバーとなることが有効である

公民館利用団体など地域で活動する団体や人材等の情報共有

### 学校運営協議会

地域とともにある学校

**連携** ↑ **協働**

地域行事との連携

郷土・地域に関する学習

### 地域学校協働活動

学校を核とした地域づくり

これまでの学校応援団の取組

児童・生徒への参画

学習活動への支援

放課後子供教室

安心・安全確保の支援

学校内外の環境整備

NPO・企業

新たな組織や会議を立ち上げるのではなく、幅広い住民や団体が無理なく参加できるよう「ゆるやかなネットワーク」を構築し、活動の幅を広げていく。.

### 地域学校協働ネットワーク

(地域学校協働本部)

<他事業との関連>  
広域学校応援団として、人材バンク“魅学”、川口市民大学の修了者等を積極的に活用していく。

## 川口市における地域学校協働活動の推進

○これまでの学校応援団では、学習支援、環境整備、見守り等、学校の教育活動を支援する様々な取組が展開されてきました。今後、地域学校協働活動として拡充していくには、地域と学校が「WIN-WINな関係」を築いていくことが重要です。

### <地域学校協働活動の取組例 (WIN-WINな関係による主な効果)>

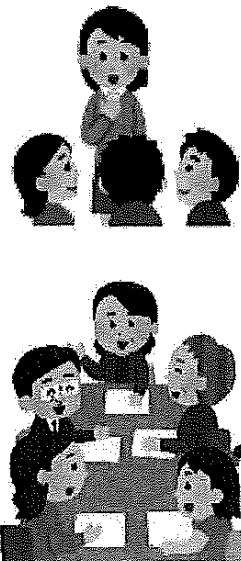
- ・学校と自治会の連携による防災訓練(児童・生徒の意識向上、自治会の負担軽減)
- ・校内作品展や公民館文化祭における作品交流(学校や地域における世代間交流の充実)

○地域学校協働活動を進めるには、学校応援団、PTA、町会・自治会、NPO・企業等、地域の様々な団体や人材が情報を共有したり、協力して活動したりすることができる「地域学校協働ネットワーク」を構築することが有効です。

○ネットワークの構築や地域学校協働活動の推進のために新たな組織や会議を設けるのではなく、各学校の学校運営協議会や学校評議員の会議等において、地域学校協働活動として取り組む具体的な内容等を協議することで、学校運営協議会と地域学校協働活動の連携を図ることができます。

## 「地域学校協働活動推進員」の役割

- 「地域学校協働活動推進員」は、社会教育法第9条の7において、教育委員会の施策に協力して、地域と学校との情報共有や地域住民等への助言等を行うものとされています。
- 「地域学校協働活動推進員」は、地域住民等や学校関係者との連絡調整、地域学校協働活動の企画・調整等の役割を担います。これまでの学校応援団や放課後子供教室のコーディネーター等が担当することが考えられます。（複数配置也可）
- 地域学校協働活動と学校運営協議会のスムーズな連携を図るために、「地域学校協働活動推進員」が学校運営協議会のメンバーとなることが有効です。

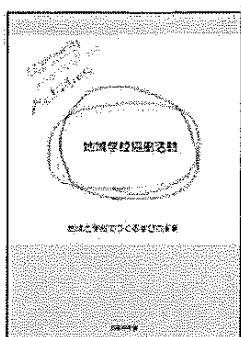


## 参考資料

- 文部科学省WEBサイト「学校と地域でつくる学びの未来」

- ・地域学校協働活動の考え方や全国の取組事例の紹介
- ・地域学校協働活動パンフレット（令和元年7月）
- ・地域学校協働活動ハンドブック（平成30年1月）

<https://manabi-mirai.mext.go.jp/index.html>



- 中央教育審議会「新しい時代の教育や地方創生の実現に向けた学校と地域の連携・協働の在り方と今後の推進方策について（答申）」（平成27年12月21日）

[https://www.mext.go.jp/b\\_menu/shingi/chukyo/chukyo0/toushin/1365761.htm](https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo0/toushin/1365761.htm)



- 動画コンテンツ「YouTube文部科学省チャンネル」

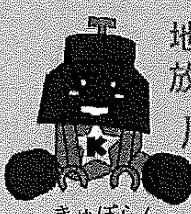
- ・地域学校協働活動について

<https://www.youtube.com/watch?v=t8fkA8jDufU>



- ・社会に開かれた教育課程の実現について

<https://www.youtube.com/watch?v=BzVSGqWQjiA>



地域学校協働活動、学校応援団、  
放課後子供教室に関するお問合せ先  
川口市教育委員会生涯学習課  
TEL：048-259-7655